

第4回 那須塩原駅周辺まちづくり協議体

持続的なまちづくりに向けて

令和7年7月3日

持続的なまちづくりへ向けて

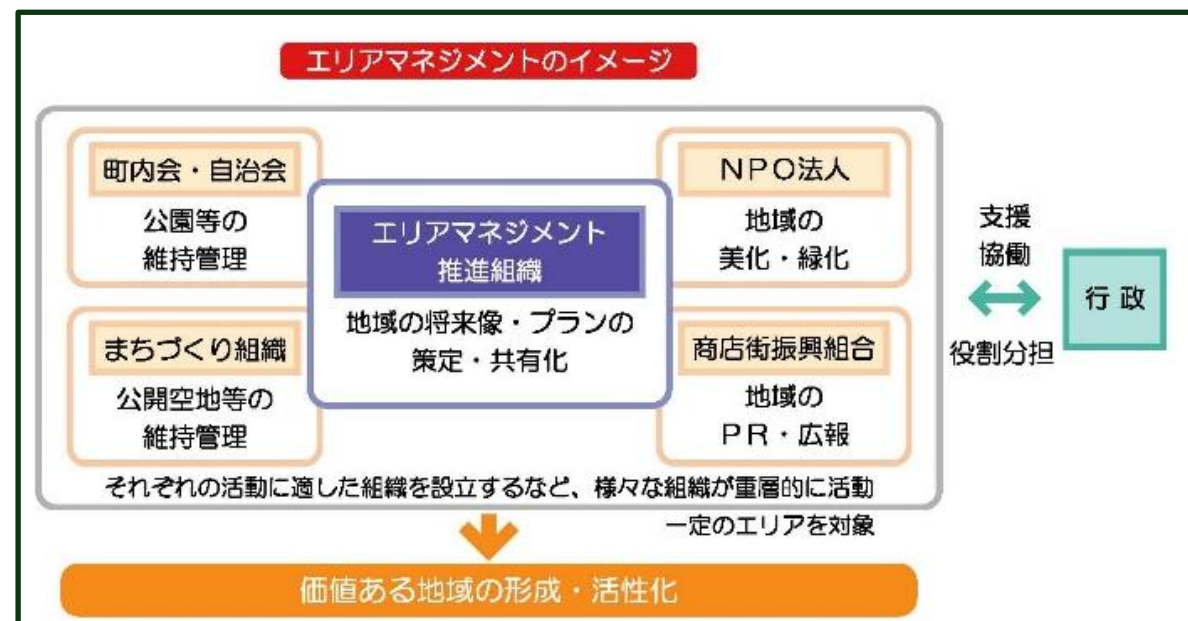
将来的な駅周辺のエリアマネジメント組織（まちづくり組織）を見据えて、活動母体として
エリアプラットフォームの構築を目指す

エリアプラットフォーム
の構築

将来的に

エリアマネジメント組織

特定のエリアの価値を維持・向上させるために、住民や事業者、地権者などが主体的に行う取り組み



「エリアマネジメントのススメ」（国土交通省土地・水資源局）
<https://www.mlit.go.jp/common/001206668.pdf>

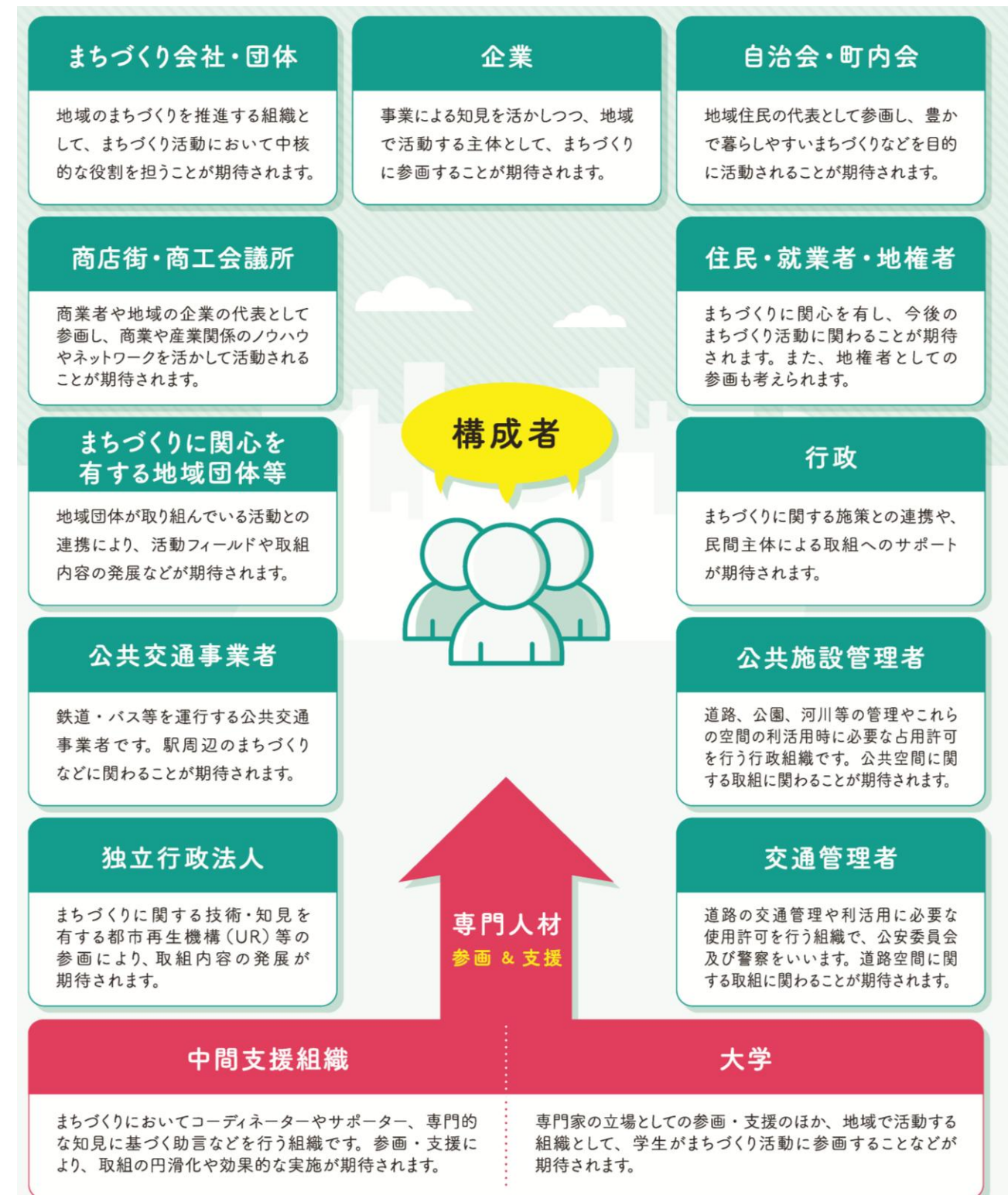
持続的なまちづくりへ向けて-エリプラとは-

エリアプラットフォーム（以下、エリプラという。）

まちづくりや地域課題解決に関心がある関係者が集まって、まちの将来像を議論・描き、その実現へ向けた取組（＝まちづくり）について議論・調整を行うための場

エリプラとは概ね以下の要件が揃った協議の場

- ・ エリアに関わる様々な仲間と集まり協議をする
- ・ まちづくりに関わる実績を有する専門人材からの支援を受けている
- ・ エリア価値の向上・将来像の実現が目的
- ・ 緩やかな協議の場（プラットフォーム）



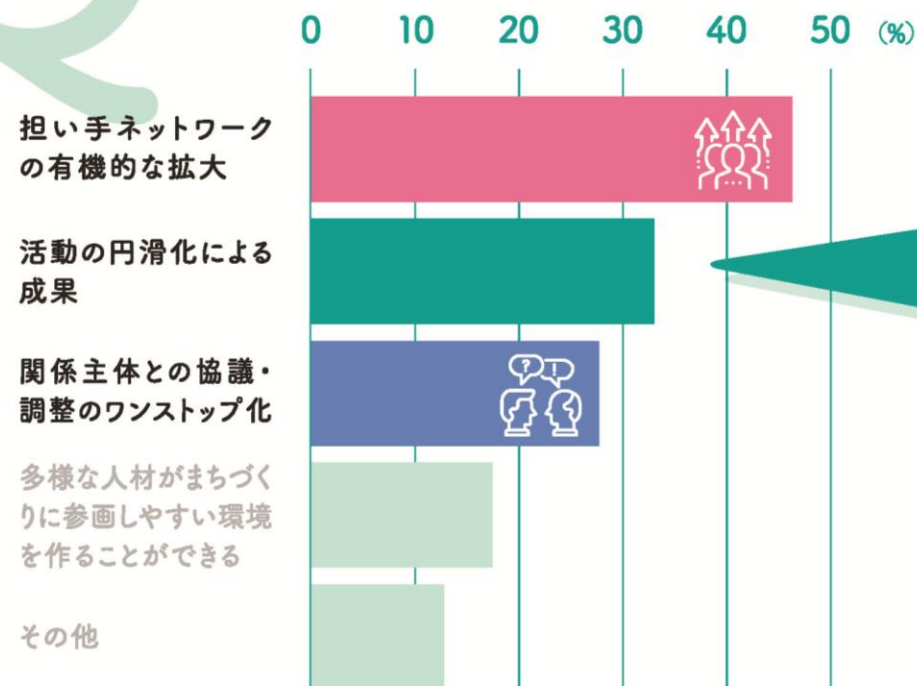
持続的なまちづくりへ向けて-エリプラ構築の効果-

エリプラ構築の効果として

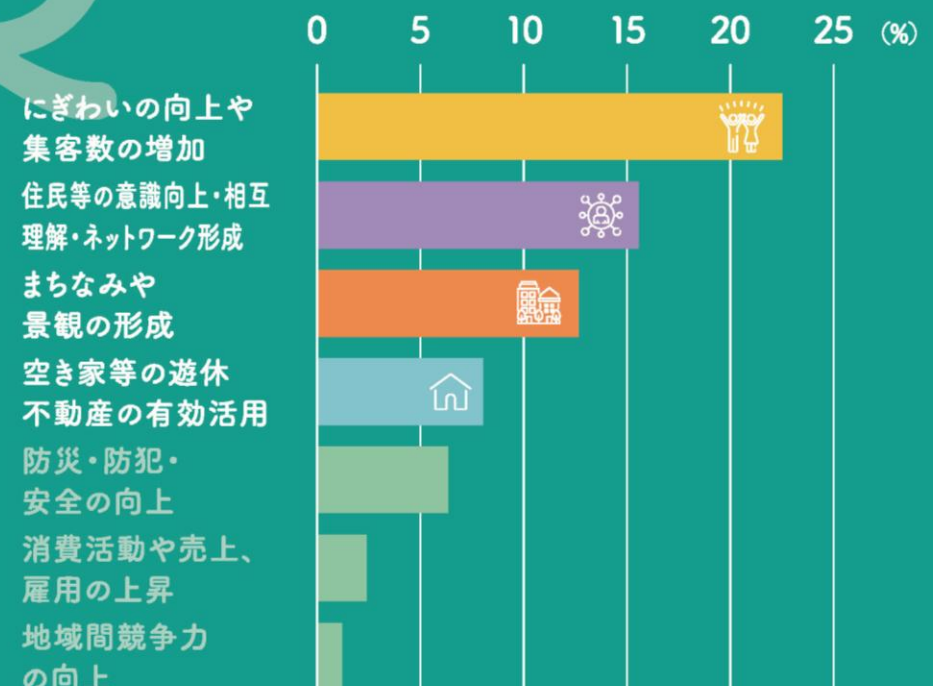
- 「担い手の拡大」、「手続きのワンストップ化」
- 特に効果を感じていることとして、にぎわいの向上や集客数の増加、住民の意識向上・相互理解・ネットワーク形成

などが挙げられている（取り組みを実施している自治体アンケートより）

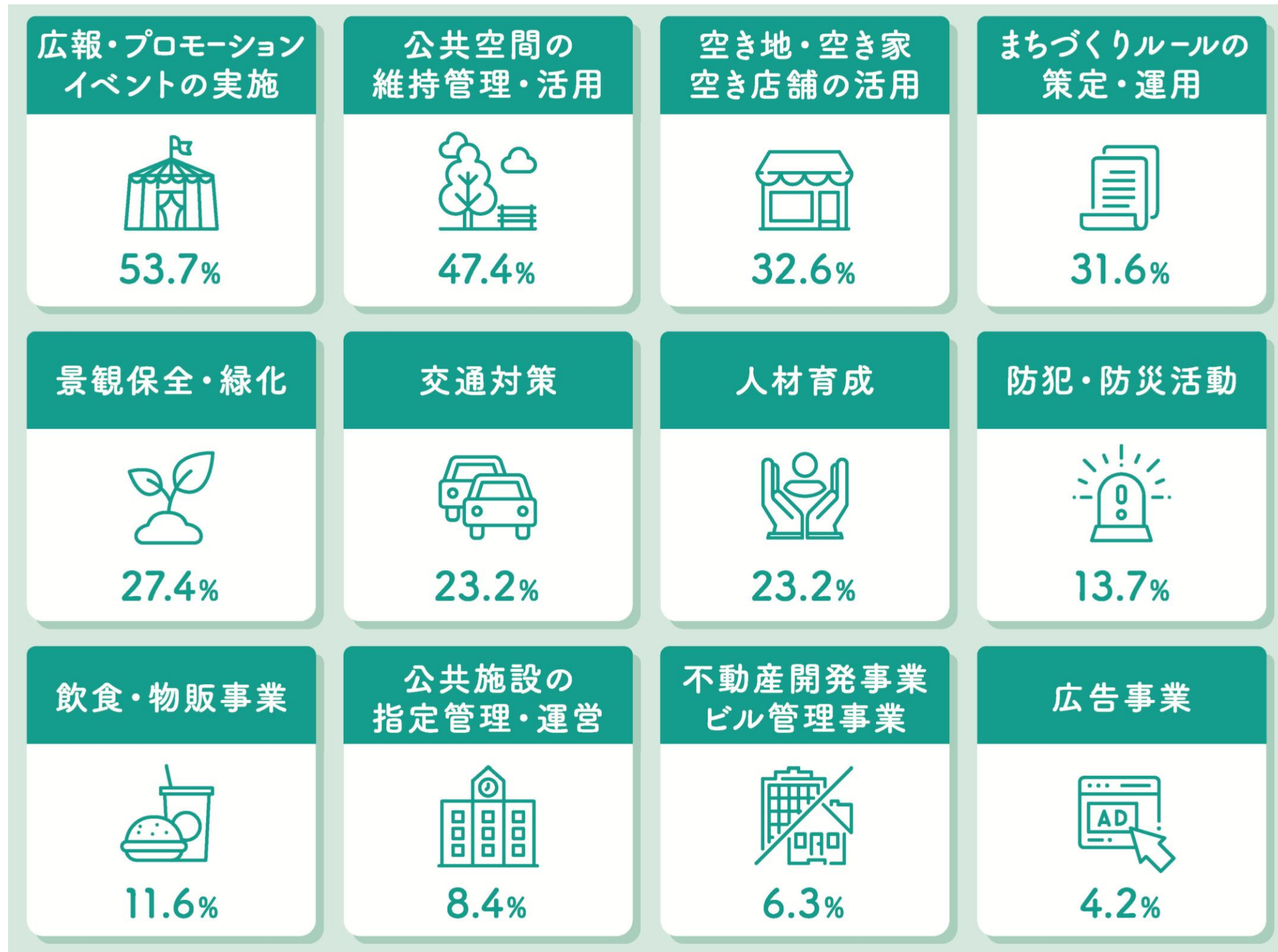
エリアプラットフォーム構築の効果は？



特に効果を感じている項目は？



持続的なまちづくりへ向けて-エリプラの取組・活動-



持続的なまちづくりへ向けて-各地の事例-



エリア将来像の共有

〈広島県・福山市〉

**福山駅前
デザイン会議**

エリアプラットフォームの活動内容

 交通
  公共空間
  指定管理

 ストック活用
  人材
  不動産

構成員

企業

商店街

中間支援

交通事業者

広場と周辺のまちを繋いだニューノーマルな日常生活を先取りしたイメージ



広島県福山市では、市や市民、関係地権者、事業者が目指すべきまちの姿を共有し、その実現に連携して取り組んでいくために、2018年に「福山駅前再生ビジョン」を策定しました。その特徴は、ビジョン冒頭に記載した、絵本のようなタッチで示した駅前のイラストと、ニューノーマルな日常生活を示すテキストです。「働く・住む・賑わいが一体となった福山駅前」をコンセプトに、芝生で覆われた駅前広場をはじめとしたウォークアブルな空間、より日常に溶け込んだ福山城、カフェでウェブ会議をするママ等、具体的な生活イメージを想起させる工夫がなされています。

発足：2020年4月



具体的な取組の展開

〈滋賀県・草津市〉

**草津市中心市街地
活性化協議会**

エリアプラットフォームの活動内容

 広報・イベント
  景観・緑化

 公共空間
  ストック活用

構成員

社会・団体

企業

自治会

商店街

行政

中間支援

交通事業者

地域団体

テナントミックスを軸とした持続可能な中心市街地活性化



草津まちづくり(株)が施設運営を担う「niwa+ (ニワタス)」

滋賀県草津市では、草津市中心市街地活性化協議会の事務局を担う草津まちづくり(株)が主体となって、商業の活性化、都市の魅力構築などに取り組んでいます。具体的には、誘致するテナントの最適化を図るテナントミックス事業を軸としており、例えばJR草津駅東口前に市が整備した緑化広場「niwa+」では、ベーカリーやカフェ、ライフスタイルショップなどこだわりの5店舗を誘致・建設するとともに、広場での定期的なイベントも開催し、にぎわいを生み出しています。また、東海道・草津宿や、草津川跡地公園等でも同事業に取り組んでおり、中心市街地全体の活性化につなげています。

発足：2013年7月



具体的な取組の展開

〈栃木県・宇都宮市〉

カマクリ協議会

エリアプラットフォームの活動内容

 広報・イベント
  公共空間

 ストック活用
  人材

構成員

まち会社・団体

自治会

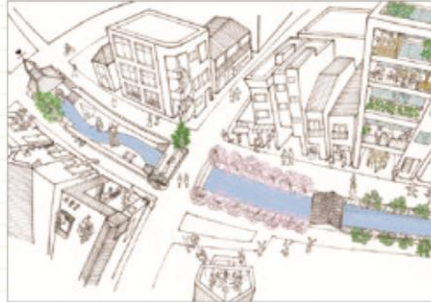
商店街

行政

中間支援

大学

関係人口ネットワークによるエリアリノベーション





官民境界を超えたリノベーションをエリア一体で展開

栃木県宇都宮市の中心部を流れる釜川の周辺では、学生中心の任意団体やビルトザリガニまちづくり合同会社等により、クリエイティブエリアの構築に向けた民間先導のリノベーションが進められてきました。

上記団体等により設立されたカマクリ協議会では、民間の遊休不動産活用と、釜川や道路等の公共空間活用を組み合わせ、官民一体のエリアリノベーションを推進しています。ペランダ等を活用した都市農業の検証、釜川流域の生物多様性に配慮した社会実験等、ユニークな取組も見られます。また、地区内に限らない関係人口ネットワークの構築により、活動の持続化を図っています。



具体的な取組の展開

〈北海道・札幌市〉

**札幌駅前通
協議会**

エリアプラットフォームの活動内容

 広報・イベント
  景観・緑化
  指定管理

 広告
  まちづくりルール
  人材

構成員

まち会社・団体

住民・就業者

行政

地下歩行空間の特徴を最大限に活かしたまちづくり



札幌駅前通まちづくり(株)主催によるアートイベント

まちづくりの主要な財源となっている広告事業

北海道札幌市で、札幌駅前のエリアプラットフォーム的な役割を担っている「札幌駅前通協議会」の事務局を担う「札幌駅前通まちづくり(株)」は、指定管理者として、札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ)を管理運営しています。積雪に関係なく1年間を通じて活用できるチ・カ・ホは、イベント貸し出しスペースとして毎年95%以上の稼働率を有するなど、まちの活性化の一翼を担っています。またイベントの効果もあり、1年を通じて5~8万人/日が通行する立地条件を活かし、壁面を活用した広告事業も展開し、収益をまちづくりに還元しています。

※上記活動内容は、協議会事務局を担う札幌駅前通まちづくり(株)の事業です

持続的なまちづくりへ向けて-事例紹介-

株式会社ネイバース代表取締役 尾崎信さん

都市計画、地域計画、
都市デザイン、景観を
専門とし、甲府や気仙沼の
エリプラ構築に関わる

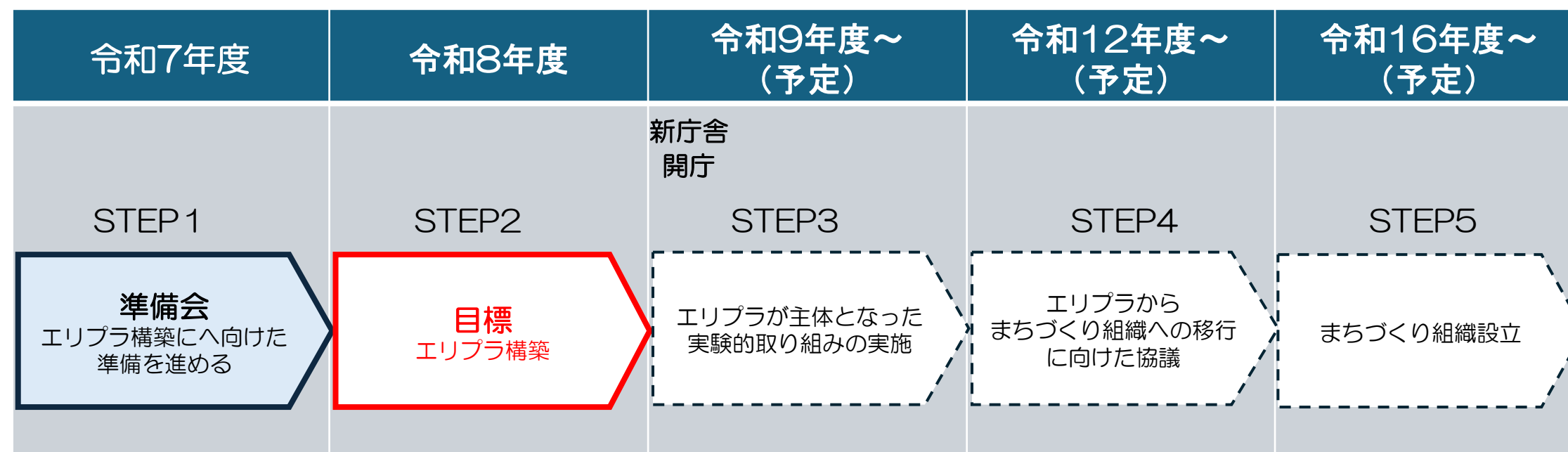


- ①甲府や気仙沼でのエリプラ立ち上げに関するレクチャー【40分程度】
 - ー立ち上げの目的・経緯
 - ー事務局の立ち上げ初動の動き
 - ー構成員について（どのように募ったか）
 - ー今後甲府・気仙沼エリプラで予定していること
 - ー立ち上げに際して苦労したことなど
- ②質疑応答【10分】

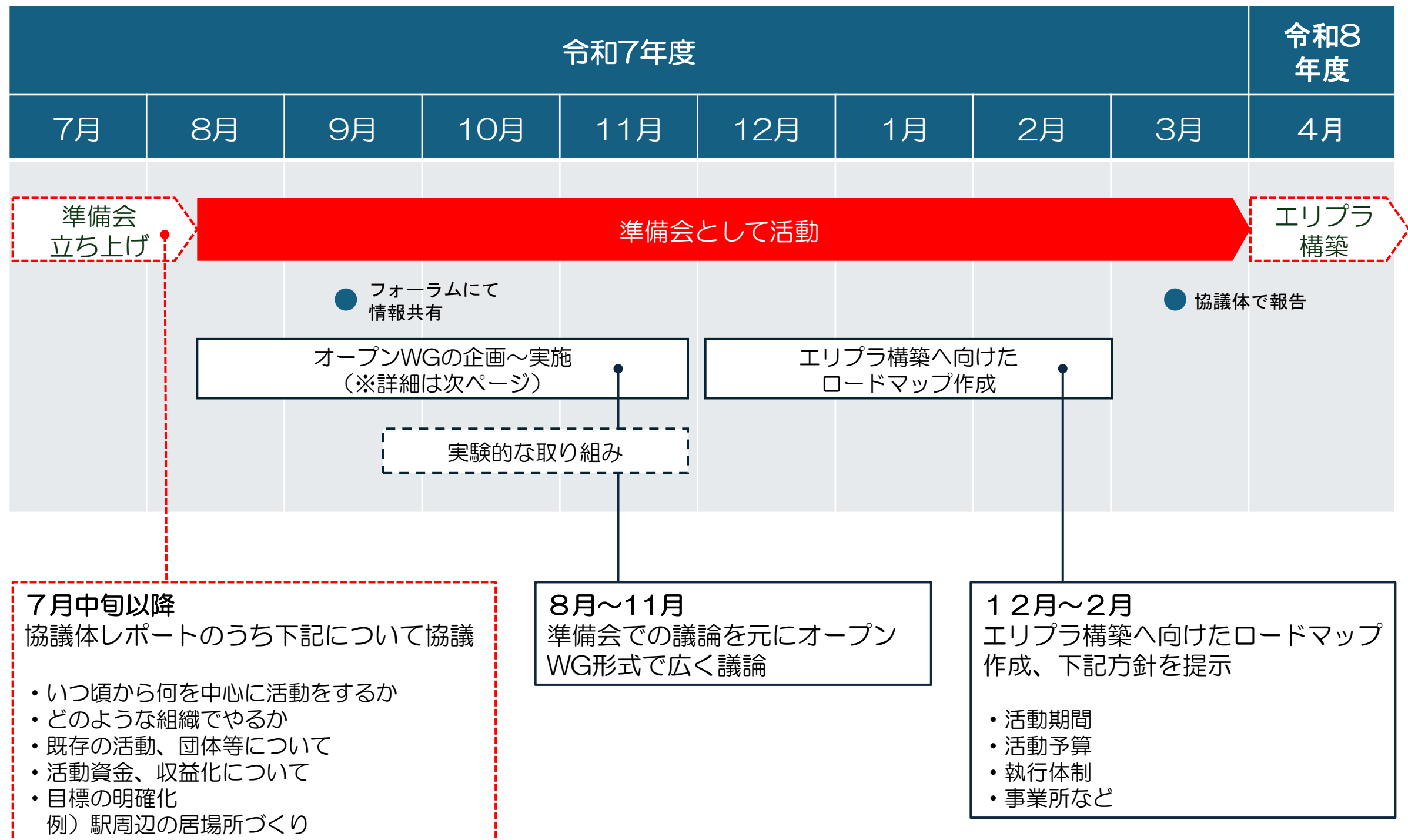
質 疑

持続的なまちづくりへ向けて-中長期的な進め方(案)-

- 令和8年度中のエリプラ構築を目指します
- 令和7年度協議体メンバーを中心にエリプラ構築に向けた準備会を立ち上げます
→エリプラの体制づくりについて議論を開始
- 令和9年度の新市庁舎開庁に合わせて、エリプラ主催の実験的取り組みを駅周辺で行い、まちづくりの機運を高めていく予定です。



持続的なまちづくりへ向けて-令和7年度の進め方(案)-



持続的なまちづくりへ向けて-オープンWG-

(1) オープンWGの趣旨・目標

- ①協議体レポートの共有＋エリプラ構築への機運醸成
- ②関心のある市民、企業との対話、活動
- ③エリプラ構築へ向けた協力体制の構築

(2) オープンWGの進め方

準備会を事務局として企画を進める

エリプラ構築へ向けた取り組みを専門人材の助言を受けながら実施



(3) 準備会立ち上げ打合せは以下の日程で開催予定しています。参加ご希望の方は事務局までご連絡ください。

候補日：7月7日（月）、7月14日（月）、7月28日（月）